

会 議 録

会議名	平成26年度 第1回 小金井市図書館協議会		
事務局	図書館		
開催日時	平成26年5月23日(金) 10時～12時		
開催場所	小金井市立図書館本館 地階集会室		
出席者	委員	田中 幸夫 中里 成子 吉田 雪枝 石田 静子 齊藤 誠一 舩崎 尚 則武 辰夫 藤森 洋子	
	欠席者	原 忍 宮澤 みゆき	
	事務局	西田生涯学習部長 上石館長 菊池奉仕係長 西村庶務係長 栗栖主事	
傍聴者の可否	可	傍聴者数	2人
傍聴不可・一部不可の場合はその理由			
会議次第	<p>1 議題</p> <p>(1) 第2次小金井市生涯学習推進計画について</p> <p>(2) 科学の祭典について</p> <p>(3) 管外視察について</p> <p>(4) その他</p> <p>2 報告事項</p> <p>(1) 図書館貫井北分室について</p> <p>(2) その他</p> <p>3 図書館内見学</p> <p>3 配布資料等</p> <p>(1) 第2次小金井市生涯学習推進計画</p> <p>(2) 第2次小金井市生涯学習推進計画の評価に係る調査について</p> <p>(3) 第2次小金井市生涯学習推進計画(参考資料)</p> <p>(4) 科学の祭典資料(図書館だより第24号、25号、27号)</p> <p>(5) 今後の日程表</p> <p>(6) 図書館便り第29号(最新号)</p> <p>(7) 黄金色の時間のなかで</p> <p>(8) 月間こうみんかん</p>		

平成26年度第1回 小金井市図書館協議会

平成26年5月23日

【西田生涯学習部長】 皆様、おはようございます。本日はお忙しい中、平成26年度第1回図書館協議会にご出席いただきましてありがとうございます。生涯学習部長の西田でございます。

会議に先立ちまして、皆さんご承知かと思いますがご報告をさせていただきたい事項がございます。4月1日付けで人事異動が発令されまして、これまで私が兼職をしておりました図書館長の役目が上石に移りました。3月31日まで図書館長補佐として務めておりました上石弘美が図書館長として4月1日に発令されまして、私の兼職が解除されておりますので、今後の図書館協議会の役職につきましては上石にバトンタッチをさせていただきますので、どうかご理解とご協力のほどを引き続きよろしくお願い申し上げます。

【上石館長】 皆様、おはようございます。今部長からお話があったとおり、図書館長を拝命いたしまして、この4月から頑張っているところでございます。1年間補佐として頑張ってきましたけど、まだまだ未熟でございますので、これからもどうぞ皆さんにご協力いただきながら頑張らせていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

また、三者懇談会へ先週来ていただき、2週続いてしまいまして、皆様大変日程が厳しいかなと思っております。ありがとうございます。ここで、西田部長は公務がありますので、退席させていただきます。

【西田生涯学習部長】 よろしく願いいたします。

(西田生涯学習部長退席)

【上石館長】 それともう1点、人事異動がございまして、係長職をご紹介します。庶務係長の佐藤が介護福祉課へ転任いたしまして、後任に奉仕係長であった西村が配置換えで庶務係長になっています。

【西村庶務係長】 西村です。よろしくお願いいたします。

【上石館長】 奉仕係長の後任には、菊池主査が配置換えになっております。

【菊池奉仕係長】 菊池と申します。よろしくお願いいたします。

【上石館長】 事務局、栗栖はそのままでございます。庶務係の栗栖と西村が事務局と

して皆様とのパイプ役になると思いますので、よろしくお願いいたします。

では、これから開会させていただきますが、原委員と宮澤委員からは欠席のご連絡を受けております。

菊池は公務がありますので退席いたします。

【菊池奉仕係長】 失礼いたします。

(菊池奉仕係長退席)

【上石館長】 それでは、田中会長、会議開催につきましてよろしくお願いいたします。

【田中会長】 皆様、おはようございます。先週は公務で欠席いたしまして、すみませんでした。

それでは、平成26年度第1回小金井市図書館協議会を開催させていただきたいと思えます。第1回というと何か変な感じがするのですけれども、年度が変わったということで第1回です。皆さんとは何度か会合を開いていますが、今日もよろしくお願いいたします。それでは、議題に沿って次第を進めていきたいと思えます。議題の(1)第2次小金井市生涯学習推進計画ということで、事務局から、この議題(1)についてご説明をお願いいたします。

【上石館長】 それでは、ご説明いたします。その前に、資料の確認をお願いいたします。よろしいでしょうか。1、「第2次小金井市生涯学習推進計画」の冊子でございます。2、「第2次小金井市生涯学習推進計画の評価に係る調査について」。3、「第2次小金井市生涯学習推進計画参考資料」。4、「科学の祭典資料」ということで、「図書館だより」の24号、25号、27号。5、「今後の日程表」。6、「図書館だより」第29号、最新号でございます。7、「黄金色の時間の中で」は冊子です。8、月刊「こうみんかん」です。以上、大丈夫でしょうか。

では、第2次小金井市生涯学習推進計画についてご説明いたします。こちらの冊子と協議会資料ということで、事前配付させていただいた横長の資料はございますでしょうか。

【西村庶務係長】 三者懇談会にいらした方は、三者懇談会当日に配付しております。ご欠席の方には送付させていただいております。

【上石館長】 こちら、第2次小金井市生涯学習推進計画ですが、田中会長が社会教育委員のときに作られたというものです。この計画につきましては、平成21年度から平成25年度までの5カ年を計画期間として設計されたものでしたが、市の最上位計画である長期総合計画等の計画期間がずれるということで、平成27年度まで延伸をしたというこ

とです。そのため、こちらの横長プリントで、26年度から27年度という期間が延びているものをつけさせていただいております。計画そのものがこのまま2年延伸すると、特に第4章に記載してあります施策の展開につきましては、事業内容等が変わってしまったものや、既に目標を達成して終了した事業等がありますので、実績、方向性につきましてはの策定当時と現在と違う点がございます。このたび現状にあわせた形で修正を行い、資料のとおり作成いたしました。

では、簡単にこちらの横長の資料を説明いたします。1ページが施策の展開の本文になりますが、タイトル及び事業内容部分についても、もともとの計画のとおりとなっております。冊子と比べていただくと、全く同じということでございます。そうしまして、表の形で記載した部分、一番左の別紙にございますものがこの冊子のページを示していて、こちらを見ながらということになりますが、元の計画と比較する際に参考にさせていただきたいと思います。

表の右端に余白部分にアスタリスクを付したものにつきましては、独自に注記しているのですが、今回修正をした事業であることを示しております。これらにつきましては、最終ページに変更点及び変更理由等を一覧にしておりますので、こちらもご参照ください。

また、右側に方向性を矢印で示しておりますので、こちらもご参照ください。

そうしまして、こちら、小金井市の図書館協議会ですので、図書館のところを見ていただきたいと思います。こちらです。

まず、4ページ。読み聞かせ活動の推進ということで、図書館の担当課、図書館というところがあると思います。こちらの実績等を私共で、先程資料として2枚目にお渡ししている参考資料ということで、実際の数字を入れてございます。そうでないと、何を実施しているのだろうということになりますので、数字を入れさせていただいておりますので、ごらんいただけますか。

1つ取り上げてご説明して、あとはまた見比べていただくということになると思いますので、1つ、読み聞かせのところですね。保育園、図書館、児童館等で実施する読み聞かせ等を通して、子どもが読書に親しみ、自己形成が促進される機会の充実を図るということで、事業内容が読み聞かせになっております。図書館部分は、こちらの参考資料ではおはなし会を指しております。本館、東分室、緑分室で年齢に応じて読み聞かせを実施してまして、参考までに23年度、24年度、25年度の数値を出してございます。こちら、25年度は数値がまだ精査中でございますので、参考資料ということでごらんになってく

ださい。もしかすると、少々数字が今後変わるかもしれませんが、今のところ、これで推移を見ていただくということをお願いします。

方向性として、右上矢印ですので、推進、内容のより一層の充実を図る事業というふうに捉えてございます。

このように見ていきますと、次の22ページの市民のための講座というところにも図書館が出てきます。講座、障害者サービス、学校訪問というふうになっておりますので、こちらの1枚の資料を参考資料としてお使いください。

このアスタリスクが、図書館の講座のところについているのが、先程も冒頭に申し上げましたとおりに、用語が変わった点のところでございます。一番後ろのところに変更箇所一覧というのがついていると思いますが、そちらの上から13行目ですね。講座、事業内容との変更、対象に青少年期を追加ということで、変更したということです。継続していますが、内容はちょっとふくらませましたということで、アスタリスクがついている箇所でございます。

あと図書館はあまりないのですが、最後、34ページに図書館の充実ということで、個人貸出、団体貸出、夜間貸出していること。こちらは数値が入ってございましたが、さらに25年度にもつけてございます。方向性としてはほとんどのものが継続なので、内容や質の一層の充実を図る事業というふうに記載してございます。

本当に急ぎ足で説明しましたが、皆様に何をさせていただきたいかという、こちらの事務連絡で、社会教育委員の会議の議長中村さんより、図書館協議会会長あてにアンケート調査というか、調査をしてくださいということで、この説明をしたわけでございます。アンケート用紙をごらんください。

資料2の2枚目になります。図書館協議会用アンケートというのがございます。そちらで、皆様に今ざっと説明させていただいた図書館に関わる、または図書館に関わらなくてもということで、2ページの第2節については、図書館のところ該当の項目がないけれども、意見があればご記入くださいということになっておりますので、全体を見ていただくというとても大変なアンケートだなと思っています。

ただ、第2次の検証をして第3次に取り入れなさい、第3次を正確にするための、作成するために皆様からご意見をいただきたいということで、社会教育委員の会議から文書がきているということになっております。

こちらは、公民館運営審議会もそうでございます。図書館協議会の皆様には、このアンケ

一トに答えていただきたいということでございます。ざっと説明させていただいたので、何のことだろうなと思われてしまうと思うんですが、先程の横長の資料と、今、私のつたない説明でしたけども、その参考資料をごらんになりながら、図書館のところの部分を記述式ですけども、何かご意見があれば書いていただきたいということでございます。説明は以上になります。

【田中会長】 第2次小金井市生涯学習推進計画の中にある図書館部分については、それほど項目はないですよ。先程説明していただいたように、2カ所ぐらいですけども、このアンケートを皆様に答えていただきたいというのが社会教育委員会からの申し入れであります。第1節から第4節まで、第1節が子ども健全育成と家庭教育の支援ということで、現在、読み聞かせを随分されているということで、事業的にはプラスの方向にいつているという報告がございまして、これをこれでさらに進めていってほしいとか、あるいはその事業内容について何かご意見があればということです。

第2節は、自主的な学習活動への支援と交流の促進ということで、現行計画においては対象事業というものはないけども、何かこういう事業をやったほうがいいのかとかあれば、ご記入くださいということです。

第3節が、市民のための講座ということですね。多彩な学習活動の展開というところで、図書館というのは、講演会、障がいがある人への点字講習会・対面朗読、学校訪問等の充実を図りますということで、これも大体右上がり、やられているということですけども、これに対して皆様から何かご意見があれば書いていただければということです。

4番は、図書館の充実ということで、事業内容は個人貸出、団体貸出、夜間貸出、これは先程みんな右上がりになっていたということですけども、もっと夜間開館を、とかいう意見を書いてもいいのかわからないですけども、そういうことですよ。いろんなところで事業展開をもっとしたほうがいいのかということですけども。

第4節は、連携・協働。現行計画において対象事業はありませんが、該当する事業やご意見があればご記入くださいということで、これをフリーハンドで書いていただければと思います。何かあれば質問やご意見を少し言っていただければと思うんです。皆様のから何かございますでしょうか。

【船崎委員】 直接関係ではないですけども確認で、4ページの、読み聞かせを図書館がやっているということですけども、上のブックスタートに図書館は全く絡んでないんでしょうか。それだけ確認したいです。健康課だけやっているのですか。

【上石館長】 健康課でブックスタートをやっておりますが、図書館は支援ということで、会場に図書館の本を展示して協力しています。

【船崎委員】 それはやっているわけですね。

【上石館長】 はい、それはやっています。そういったところも記入していただければ、ブックスタートは図書館でやるんだよとか、そういったことのご要望が、今後はそういうふうにしたほうがいいのかというの…。

【船崎委員】 関わっているならいいんです。関わってなかったら、ちょっと考えられないことだと思ったんです。

【田中会長】 そのほか。

【齊藤委員】 同じような質問をしてしまいますが、子育て支援関係での図書館の取り組みというのはないんですか。最近、いろんな図書館で子育て支援に関して、サービスを提供しているところが増えてきているんですけども、小金井ではやっていないですか。

【上石館長】 子育て支援につきましては、いろんな形があると思うんですけども、幼稚園、児童館、保育園等に、団体活動しているものを1つのものかなとか、そういったことがございますが、小金井では「のびゆくこどもプラン」とかそういったこともありますので、こちらの計画には入っていないのかもしれないですけど、関わりはあります。あと、関連の施策としては、図書館は「小金井市子ども読書活動推進計画」がありますので、そちらでの各関連10課と連携しての計画があります。それも2年間延伸していますので、協議会の管理では延伸を認めていただいていますので、全く同じですけど、上位計画とあわせるということで、そちらに、2年間延伸しまして、そちらの計画の中にもいろんな角度の意見があります。

【齊藤委員】 赤ちゃん向けのおはなし会なんかやって、結構お母さん集ってきますので、それも子育て支援の1つだと思いますし、そこに図書館の情報を置いておいて、借りてもらおうというのは大変いい子育て情報提供に近いものだろうと思って、ぜひ連携してやるといいなというふうに思ったものですから。

【田中会長】 ありがとうございます。今のお話で、やっていらっしゃるんですけどこういうところに出てこない、やってないんじゃないのかみたいになってしまうので、上手に載せて、協働しているんだとか、そういうふうな格好にされたほうがよろしいのではないでしょうかね。全然ノータッチではないですよ、子育て支援は、今聞いていると。子育てもそうですけども、ブックスタートの話も、ここだけを見ると、健康課だけ。協働

でやっている、あるいはこちらのアンケートに、もうちょっと協働するところを強調するとか、お互いにもうちょっと連携してやるんだということを述べて伝えてもいいんじゃないかなというふうに思いましたけど。

【上石館長】 そのとおりだと思います。やっぱりPRも1つの方法というか、していないと、せっかく図書館なりに努力しているところが認めてもらえないのかなと思いますし、ブックスタートに関しては、絵本のリストをつくったりもしていましたし、改定もしておりますので、かなり協力はしています。ここに載ってないということがない、そうかなと思いますので、その辺も、第3次には入っていけばいいなと思います。

【吉田委員】 関連して。この読み聞かせの活動の推進のところで、本館でやっているのと東分室、緑分室でやっている2つが書いてあるんですけども、私が所属するごうちぶんこは、緑分館の読み聞かせを年に1回、今度貫井北分室に行くことになっているんですけども、緑分室が回数が少ないのに参加人数が多く、本館のほうが回数が多いのに参加人数が少ないんですが、本館の読み聞かせ会というのはどういう形でやっていらっしゃるんですか。

【上石館長】 本館の読み聞かせは、毎週水曜日に職員で、4歳以上のお子さんを対象にやっています。第5の水曜日があるときは、ボランティアさんに来ていただいてやっています。毎週ですけども、1回なんですね。緑分室は、毎月最終土曜日に一日2回、対象者を変えて、3歳以上のお子様と保護者の方、あと小学生の方と、2回やっています。

【吉田委員】 22回が、土曜日を1日と数えてカウントされているんですか。

【上石館長】 最後の土曜日、もしくは1週前の土曜日というふうになっていますので、普通に考えると12回になるので、掛ける2で24。1回がおはなし会ではなくて、お楽しみ会というふうにしているので、そうだと思います。

【吉田委員】 土曜日1回の、最初と後のをそれぞれ別と数えているんですね。

【上石館長】 そうですね。保護者の方も入られるので、かなり人数的には多くなっています。

【吉田委員】 本館の44回は主に職員がやって、第5のときだけ市民ボランティアで、緑分室等では、基本、ボランティアでやっているんですね。

【上石館長】 緑分室は、ボランティアさんの取り組みが一番図書館の中では早かったんですね。協働してやろうということで、ボランティアさんに集っていただいて年間のスケジュールを組みます。どうしてもボランティアさんもあちらこちらでご自分の活動もあ

りますので、空いてしまったようなところの土曜日は職員がやります。基本はボランティアさんに活動してもらっているということです。

【吉田委員】 わかりました。ありがとうございます。

【藤森委員】 先程のアンケートのことですけれど、これは会長あてのお手紙の中を読ませていただくと、4つの基本目標について強調するためにとのご意見を拝聴いたしたくとありますね。回答期日が9月30日までとありますが、どのくらいの量を書けばいいのかとか、アンケートの形態として、これではあまりにも漠然としていて、書こうと思えばいくらでも書けるし、書かなければ全然書かないというような形、もう少し書くべきことのポイントを整理して、アンケートの形態として提示していただけるとありがたいんですけど、これではあまりにも漠然とし過ぎているような気がします。

【田中会長】 これは社会教育委員会のほうからきた状況ですね。これは、どこまで書くかというのは非常に難しい問題でありますけれども、4つですか、5つですか、簡単に4つぐらいあるんですけれども、私が思うには、皆さんがこの資料とか、あるいは普段考えていることをここに書いていただければいい。それを皆さんからいただいて、回答がない部分があっても構いませんので、それでまとめて皆さんに1回ご報告をしたいというふうに考えております。

【石田委員】 社会教育委員会の会議でそれについても話されました。アンケートの対象をどうするか、内容をどうするかということをして、図書館と公民館にだけそれは出ております。そして、私たちがこれから各団体、私たちの母体に対してアンケートをつかって、これから検討していくのですが、回答内容として「よい」「もっと」とか、3択とか5択にするとか、チェックを入れてもらうとわかりやすいとか、そういう意見も委員会では出ております。現状でいいとか、これについて進めてほしいとか、そういう意見に対してチェックを入れてもらったほうがアンケートとしては取りやすいとか、そういう意見が出ておりますけれど、館長さんも同じ会議にいらして、そういう部分についての説明ができるということで、漠然としたこういう出し方にして、出ておりますので、それぞれの委員の方の意見をそのまま述べていただいて、結局、社会教育委員の会議で趣旨をまとめて、こういう意見が多かったねという形で集約していくのではないかという、そういう方向性にいくだろうと思っております。

【藤森委員】 今おっしゃったような「よい」「悪い」「まあまあ」みたいな、よくあるアンケート、ああいう形式では本当の気持ちは伝わらないと思いますので、それを望んで

いるわけではないんです。でも、ここに書いてあるこれに関して、読んで…。

【石田委員】 ただ、読み聞かせに対すると、この4ページに、読み聞かせが大分、方向性としては上に上がっています。ということは、図書館としての努力がだんだん上昇していますよという傾向がここに見てとれるので、その見てとった部分について、もっとこういうふうにしたほうがいいのではないかとか、そういうことを書いていただくことでよろしいと思います。

【藤森委員】 難しいです。

【上石館長】 社会教育委員の会議のときも、これで書いていただくのは難しいでしょうということで、量のところでは議論はいらないよというようなこともあったんですけども、一応、量がないと何も判断できないということで、この参考資料をつけました。少しでも何か書いていただけるように、これは少ないとか、多いとかというのは、本当はそこではないんですけども、1つの何かの目安にはなるだろうと思ってつけさせていただきました。定性的なことを書いてくださいというふうに議長からあったんですけども、それこそ藤森委員が言ったように、書けばたくさん書ける、長く書ける、書かなかつたら終わってしまうというのはありまして、こんなアンケートは難しいなというような、社会教育委員会の会議でも、小委員会をこのために設けていて、その委員会の中で、これでいってみようということになったんですね。なので、皆さん、委員さんがそれぞれ思いを書いていただくと、事務局がそれをカテゴリーで分けたりして、皆さんにまた、こういったことがありましたよとフィードバックして、いや、そういうことを言ったんじゃないよというのを、会議では、図書館の場合、次回やるのは、日程のところにもありますように、7月になってしまいますので、9月までに予定はしていないので、そういったことでやりとりをさせていただいて、少しずつ、一遍にはできないので、皆さんとやりとりしながら、多くの、最大公約数みたいなこと、この点を書いてきて出すのはいかがかなと思っています。

【則武委員】 関連してよろしいですか。このアンケートがわかりにくいということは感じるんですけども、積極的な意味で評価するならば、生涯学習の計画を社会教育委員の方々の会議で検証していくというのが通常ではないかと思うんです。関連がある図書館協議会、それから公民館にというお話もありましたけども、そういうところまで拡張して声を聞くということについては、積極的な評価ができるのではないかと思うんですね。ただ、そのやり方については、それを一旦、社会教育委員さんの会議にお伝えし、さらに、この図書館協議会の個々の委員の意見なのか、全体のレベルを一つ整えて提出するのかという

ような方法論については、もう少し何か具体性が必要ではないかなという気がしました。

ただ、今日の話の中でも出ていますように、4つのカテゴリー、4つの柱で書いてあるということと、アンケートの下のほうにもありましたように、評価の参考にさせていただくため関係する事業を抽出しましたが、項目にない事業につきましてもご自由にご意見をご記入くださいというような書き方がありました。この辺がより難しくしているところでもあり、ただ、先程冒頭にあったブックスタートの件とか、子育て支援のことにも見られませうように、いわゆる事業として出てきていないものの中に、図書館がこれからどういうふうに関わっていくのかというところがむしろ重要なポイントというんでしょうか、出てきた項目の、上向いているとか、あまり変化していないよということだけではなくて、まさに自主的な学習活動への支援と交流の促進というのが何もないというふうな現状の中では抽出されているわけです。まさにこの第2節の自主的な学習活動への支援と交流の促進みたいところに、直接、間接、いろんな意味で図書館が関わっていつているし、より関わっていかなくやいけないというようなことを書くべきではないかという気がいたします。例えば小金井市は緑だとか環境だとかということ、非常に積極的な施策をしていらっしゃると思うんですけども、そういう事業をやる際にでも、図書館もそのときにブックフェアみたいなことをやって、その事業に関することをみんなに提示するだとか、そういうふうにしなから、ほかの事業にも図書館が関わりを持っていくというのがいいのではないかなという気が、個人的にはしております。以上です。

【田中会長】 今のようなことを書いていただいほうがいいですね。ですから、既存の今あるものだけではなくて、それは数値とかで評価されているところもあるし、変わらないということもありますけども、先程言ったように、目に見えない部分もあったり、皆さんが気付いているようなところもあったり、今おっしゃったように、もっとそこを強化したほうがいいのではないかというご意見がありましたけれども、そういう意見を出していただいで、それをある程度まとめて、また社会教育委員会の会議に答えるというか、多分、社会教育委員も全部わかっているわけではないと思いますので、そういう資料も含めて欲しいということでございます。あまり深く考えずに、フリーハンドで書いていただければよろしいかと思うんです。それを一応、皆さんのご意見をまとめて、こういう意見が出ましたということに戻して、それを回答として、正確な答えはないと思いますが、こういう意見があったということ、これを社会教育委員の会議に答えたいというふうに思いますけれども、よろしいでしょうか。

【齊藤委員】 1点だけ確認。これは、第3次の生涯学習計画に載せる中身になる、検討の材料になるということなんですか。そうすると、28年からの計画に反映されるということですよ。この2年間というのは、現行でいって、その評価と、3次に対しての提案をしていくというようなことに、というふうに考えていけばいいということですか。

【上石館長】 そのとおりです。

【田中会長】 ですから、現状と、それから今後、こういうところをやっていったほうが良いのではというご意見を書いていただければよろしいのではないかと思います。その点はフリーハンドで書いていただければと思います。

【石田委員】 関連の質問を1つよろしいですか。学校訪問で、市内9校の小学校1年生にとありますが、小金井市内の学校というのは、学校図書館の充実度というのはどのくらいでしょうか。程度と言ったらいけないんですけど、レベルというか。

【上石館長】 学校図書館は、文部科学省から「学校図書館基準」の設定についてという通知が出されていて学級数により決まっています。それを充足率といいますけども、そちらは充足しているということになっております。ただその内容が、捨てられない、一旦充足してしまった後、廃棄すれば減ってしまいます。時々ですけど、学校図書館に見に行くと、本当にボロボロな図書が置いてありますので、図書館ではもう既に処分しているような本でも捨てられないというのは聞いています。その辺も学校との連携になりますけども、図書館で、まだきれいだけども利用がなくなったとか、いろんな理由で除籍図書を出しますが、それを年1回、8月にこちらの会場で、小学校、幼稚園、保育園の方に、リサイクル図書の配付をしています。そちらを取りにきていただける学校もありますので、連携もしていますし、学校図書館を少しでもきれいな本に替えていきたいというのは、連携できるところはしたいなと思っています。

【石田委員】 横道にそれるのですが、学校の指導の中で『はだしのゲン』に対する意見というのは出ておりますか。

【上石館長】 『はだしのゲン』に関しては、小金井市の教育委員会では一度も出ていません。議会で同じようにアンネ・フランクの事件の時は、議員から質問がありました。小金井の図書館では破られるという事件はなかったので、そのまま通常どおり棚に置いています。

【石田委員】 安心しました。横道で申し訳ありません。

【則武委員】 1つだけ確認ですが、先程齊藤委員さんもおっしゃいましたが、この

計画そのものが27年度まで延伸しているわけですね。そうすると、今26年度で、いわゆる貫井北分室ができたということも、この現行計画の中に入っているといいですか、計画に記載はないけれども実態とすれば、26年度に開館しているということの評価の対象というんでしょうか、それをある程度前提で、一応いろんなことを書いていいということでしょうか。それを1つ確認させてください。

【上石館長】 事業内容等というところに入っていないので、確認してないですけど、削除しているところは計画が終わったというところでありましたけども、追加の項目がそもそもないので、社会教育委員に聞かないとわからないんですけど、新しい項目は、自由意見のところに書いていただくような形になるかなど。評価そのものできない。今この事業内容に対して評価、検証していただいて、次の第3次事業に持っていくということです。

【則武委員】 わかりました。混乱させるような質問になってしまいすいません。失礼いたしました。

【田中会長】 大変だと思うんですけども、ご意見ある方は書いていただきまして、メールとか、あるいは何かの形で図書館へ、メールか何かで皆さんに配信しますか。

【西村庶務係長】 こちらのアンケートのデータを皆さんにまずお送りします。返信いただく形がよろしいかと。期限につきましても、メールを送る時に大体の日日にちにさせていただいて、メールであれば、1回集約したものを見ていただき、次回に臨むほうがいいのかと思います。でき上がったものは事前にお送りできるような期限にしたいと思えます。よろしいですか。

【田中会長】 わかりました。そういう日程でよろしいでしょうか。皆様にメールで送って回答いただいて、それを集約したものを見ていただいて、9月の締め切りで、次回、こちらの会合は7月を予定していますので、その時にはある程度の答えみたいな、アンケートに対してのお答えなんですけども、それを出していきたいというふうに考えています。7月の頭ぐらいまでに出してしまうのではないかなと思うんですけど、努力します。この件に関してはこれで終わりにさせていただきたいと思えます。

続きまして、科学の祭典についてということですけども、事務局のほうから説明をお願いいたします。

【上石館長】 では科学の祭典についてご説明いたします。資料として2013年の報告書がいつていると思いますが、そのあたり、目的等書いてございますが、教育と研究と

地域産業のコラボレーションにより、地域に新たな文化を創造するとともに、地域に活力を醸成することを包括的な目的としています、と書いてございます。東京学芸大学で去年で8回目、一番最初が小金井工業高校でやっていましたので、学芸大学では7回続けて会場としてやっているということで、去年は106ブース、来場者数が8,340名という、1日でこれだけの方が集っていただく、今小金井市の中でも大イベントになっております。図書館協議会はどのように今まで関わってきたかというのが、図書館だよりのバックナンバーをご用意しています。3年間出ています。

最初のうちは出ていなかったんですけども、平成24年、このピンク色の中の3ページで、この時に初参加ということで、図書館協議会からどんなことをしたらいいだろうかということで、図書館協議会だから本と人を結びつけるということで、皆さんに考えていただきまして、ご自分の読んだお勧め本をカードに書いて、それを木に見立てたところに、葉っぱのような形でどんどん貼っていきました。図書館協議会の宣伝もしようということで、協議会の活動等もそのブースに置いてあったと思います。そういったことから始めまして、3回続けて同じような内容ですけども、参加しております。社会教育委員の会議では「くるくる回転して色が変わる不思議なテトラを作る」、公民館運営審議会では「昔遊びの科学」というブースを作っておりました。どのブースもととてもにぎわっております。図書館協議会も、皆さん親子連れで来たりとか、展示している本を読んで帰られたりとか、そういったことで地域の皆様と交流ができているのかなと思っています。今年も参加をするのかどうかということと、テーマは何にするかということを決めていただきたいです。5月30日に締め切りですので、すぐなんですけども決めていただいて、エントリー、その後はまだ時間がありまして今年8月31日なんですけども、準備を重ねていただくといいことだと思います。以上です。

**【田中会長】** 科学の祭典、今年8月31日の日曜日、1つブースをいただいて、今までは大人も子供も含めての本の紹介とか、そういうことでやられてきたということなんですけれども、皆さんから積極的にやっていただけるという方がいればその方を中心にして進めていきたいと思うんですけど。私としては、ぜひ参加して、今までやってきていただきましたので、いろんな意味で宣伝も兼ねてもできますし、いいんじゃないかと思いますが、いかがでしょうか。

**【齊藤委員】** 会場の状況がよくわかっていないんですが、これは学芸大学の1つの教室等を借りられるということですか。

【石田委員】 主催者側に属しております、事務局を担当しておりましたことでもありますのでご説明します。学芸大学のS棟とN棟、2つの棟全部を科学の祭典のために使います。申し込みは教室半分でもいいし、全部を借りてもいいです。電気を使うようならば、申告すれば危険なものでない限り、火気はあまり使わない限りは、大体許可されます。発想は自由です。前日にシンポジウム、説明会があります。いろんなブースが106出展します。毎年このようにやっていると、去年できなかったから今年はこれを絶対したいという子供が必ずいて、参加します。校舎2つを全て使えるのと、北門、東門は通常オープンしないんですが、オープンして通れるようにしてくれます。子供の保護者と一緒の参加は多いです。

【齊藤委員】 この協議会に参加している中身には、今、写真にあるような展示と、子供たちとの何か交流等もあったんですか。

【上石館長】 お子さんに委員さんが読んでほしい本を展示しているので、お子さんが通りがかれば「これ読んだことある？おもしろいんだよ」ということで子供を引き込んで、カードが置いてあり、今まで読んだことのない、おもしろいものをみんなに勧めたら？という声かけをして、図書館で本を読むって、個人的趣味というか、大勢の方と一緒にするのはなかなか難しいのですが、委員さんがブースに、順番に時間交替で座っていらして、お子さんが通りがかったりすると、声かけをして「この本、読んだことある？」というのでやっていきました。

【齊藤委員】 そのノウハウはあるということですか。今までのノウハウ。

【上石館長】 今までのものは、カードが使えるのは1日限りなのでもったいないということで、2階の児童室にそれを展示したり、まだ保管してありますので、お見せできます。

【中里委員】 そうしますと、その本は、ほとんどは児童向けといたしますか、低学年のお子様向けでしょうか。大人のものもあるんでしょうか。

【上石館長】 構わずというか、いろんなものが、皆様、委員さんの思いでやっていただいて、図書館にあるものは貸出をして展示をします。ただ、そこでは貸出ができないので、図書館に行くところとあるよということを説明していただいて、ノートパソコンで蔵書検索をしたこともあります。ご自分のノートパソコンを出しておいて、この本はあるかな、何があるかなとか、そういったことで図書館の利用者の拡大にもつながるのかなというふうにも思っています。

【中里委員】 読むスペースは、その中になりますか。

【上石館長】 いすを少し置いて、読んでいただきます。カードに書きますので、机といすを置いて、鉛筆と色紙とはさみを置いて、目立つようにはめこめました。そんな形で楽しみにやってきました。

【中里委員】 今伺いますと、これまで継承されてきたこの形がよいのかなという感じがいたします。それにプラスアルファ、読み聞かせをちょっとその場でしてみたりとか、いろんなアイデアはあるかと思うんですけども、これを基本としてというのは、図書館協議会としてはとてもいいのではないかなというふうに感じました。

【田中会長】 ありがとうございます。

【齊藤委員】 もう一つだけ。科学というふうについていますけれども、科学も本も含まれますし、意外と広いという……。

【上石館長】 広く、地域の子供たちと、というのが結構出ておまして、例えば消防車やパトカーがいたりとか、そういった催し物も科学の祭典でやっています。そういった意味では、科学の本だけとか、そういうことでなくても大丈夫です。

【齊藤委員】 図書館等でやられている科学遊びみたいなものがあるじゃないですか。そういうことをやるというのも可能ですか。

【上石館長】 科学遊びはほかのブースでも結構、科学部門でやっていますので、その方たちと違う実験とか、みんなでかなと思いますけど、エントリーシートで調整でしょうか。

【石田委員】 今日、科学の祭典の、報告書を持ってこなかったんですが、学芸大の先生方がご自分の研究室をブースに出していることもありまして、子供にケガをさせないような簡単な科学の実験とか、そういうものも入ってきます。普通の科学クラブのメンバーが自分達がやっているものを持ってきますので、びっくりするようなものが出てくるんです。私達は単純なもの。今年やる予定なんですけど、ペットボトルの中にお醤油を入れる魚がありますね。その魚のふたをネジにしまして、色を塗ってペットボトルの中に沈めるんです。そして押すと、圧力によって魚が浮き上がったり。それが不思議な現象なので、そういう体験的なものもします。幼稚園児から結構できますので。化石をつくったこともあります。型に樹脂で名前を入れて、レプリカを作ったり。いろんな科学の基礎みたいなものも出てきます。

【齊藤委員】 そうすると、図書館協議会としては、できるだけ本に特化したような中

身のほうがいいですか。

【上石館長】 3年前に、何をやるんだということがあったと思います。図書館と地域の皆さんと一緒にするといっても、その場で読むだけだと個人で終わってしまうので、どうにかしてみんながつながるような形でということで、ぺたぺたとカードを張るようなことを考えていたのと、図書館協議会のPRになるだろうというのが第一番だったと思います。先程言ったような科学部門の展示会とか結構出ているので・・・。

【齊藤委員】 要は、やるという方向で……。

【田中会長】 やらないという方向はないと思います。やるとなると、誰がどうやるかということになるんですけれども、リーダーみたいな方を1人置いて、その中で準備をしていくのがいいかなと。みんな集ってやるというのも大変ですけれども、そういう意味では、大体の形はできているということになっています。それを煮詰めて下準備をさせていただいて、当日はなるべく来られる方が来て協力していただくという格好がよろしいかとは思いますが、どうしても来れない方もいらっしゃるのです。そういう格好で進めていったらいいと思うんですが、どなたか積極的に、私がやりますという方がおられましたら、名乗りを挙げていただければと思うんですけれども、どうでしょうか。

【吉田委員】 質問ですが、この写真を見ると、木が立っていたりとか、紙を切ったりとか、そういう準備というのは一体どなたがされたんですか。

【上石館長】 この木は皆さんが作っています。昨年度は東小の図工の先生がお手伝いしてくださったということで、すごく頑丈な、立派なものができるというふうに聞いていますので、できる範囲ですけれども、お知り合いを連れてこられてということだったと思うんですけれども。

【吉田委員】 もうその木はないんですか。

【上石館長】 木はなくて、カードはあるんです。

【吉田委員】 その材料費みたいな、予算みたいなものはどうですか。

【石田委員】 現在、1万円まで科学の体験事務局から補助します。立て替えておいていただいて、当日レシートと請求書で、振込先の口座を記入欄に書いていただければ、事務局から1万円まで出ます。1団体1万円までです。今年もまだ金額ははっきり確かめていませんが、1万円は補助すると思います。

【吉田委員】 それは申請してもしなくてもいい1万円ということでしょうか。

【石田委員】 いえいえ。かかった材料費に関して、限度1万円補助するという形で

す。そのために事務局が結構一生懸命集めます。

【田中会長】 木にこだわる必要はないです。要するに、いろんな発想で皆さんにこういうものがありますよということをお見せするような意味、ボードでも何でも張っていただければいいのではないかなとは思いますが、あとはどうですか。

【中里委員】 期間的に、ここからここまでなら参加ということはできるんですが、7月下旬から8月の中旬くらいまで東京にいないんです。戻って、8月の15日過ぎくらいでしたらできると思うんですが、そういう形でよろしければ。

【田中会長】 石田さん、準備はいつやるんですか。前の日の30日ですか。

【石田委員】 30日の午後1時からシンポジウムがありまして、2時間くらいだと思います。3時くらいから各教室に行って準備をします。

【田中会長】 その段階でいろいろ作らなくてはいけない。

【石田委員】 はい。

【田中会長】 午後に作る？

【石田委員】 午後に会場準備をするという感じです。持ち込むものはそれまでに作っておかなければならないという感じですね。ただ、会場の、何のテーマでやるかというような、案内は全部事務局で申し込まれた内容で作ります。

【田中会長】 事務局で？

【石田委員】 はい、事務局で。

【田中会長】 自分が社会教育委員のときに関わったりやったりしましたけど、あまり大げさに考えなくてもよろしいかと思えます。こういう内容でやるというふうになったら、そんなに準備、今のところ必要ないんじゃないかなと思えます。そんなに重労働でないと思えます。もしそういうふうになるのであれば、だんだん出していくと思うので、そういうことはないと思えますので、お気軽にみんなで、北町センターもできましたし、宣伝も兼ねて、そういう写真を張ってもよろしいかと思えます。前に教育長が来てご挨拶されましたけど、100冊を勧めるというのであれば、リストを載せておくとか小金井市の中学校ではこういうのを推奨してやっているというのを、市民の方や子供さんにもお見せするというのもいいかと思えますし、そういう展示とかも含めていけば、そんなに大変でもないかなというふうには思えます。また、今の世の中ですから、パソコンがあるんだったら、実際に検索してみて、どう？というふうなこともできるかなと思えますので、キーは、作れる人が作るという、作れない場合はしょうがないということでもよろしいんじゃないか

と思います。

【中里委員】 提案ですけれども、皆さんを引っ張り込んでしまって申し訳ないんですが、せっかく公募をしたんですから、公募の我々でひとつ会を持ちつつ吉田さんも参加していただければ、仕事のある方は本当にお忙しくていらっしゃるから、試行錯誤しつつ、皆さんの意見も聞きながら、いかがでしょうか。私は一人で何もできない人間でして。

【田中会長】 私も手伝わない訳ではありませんので、できる限り顔は出します。

【藤森委員】 リーダーとか、そういう形でなく、みんなでやるということでしたら、お手伝いはいたします。

【中里委員】 集まれるときにちょっと図書館に、それこそ場所をお借りするなりして相談して、今度はこんな用紙をカッターで切りましょうかというようなことを楽しみながら、文化祭のような感じでできればと思うんですけれども、いかがでしょうか。

【田中会長】 私どもも手伝わない訳ではないので、時間があれば来てやりますし、先程言ったように、教育長の100冊並べたらどうだというのも、並べるのは大変だと思いますので。

【齊藤委員】 並べちゃうというのも、おもしろいですね。

【吉田委員】 教育長のリストは、前におつくりになったものだったと思うので、せっかくなので、この機会に新しいものにしていただいて。

【田中会長】 素材はいっぱいあるので、そういうものはぼんぼんやっただけといいですね。そうしたら、中高生も、高はないですね。あんまり高は来ないですかね。

【石田委員】 ボランティアで高校生は、去年はちょっと学校行事とかにぶつかって駄目だったんですが、科学技術高校の生徒全員が学校授業の一環として参加します。そういうふうにしてくださったので。あと、市から、生涯学習課で募集する各中学校のボランティア希望者、その子たちが全部ブースに入りました。

【齊藤委員】 司書課程の学生を連れてくるというのは可能ですか。

【石田委員】 可能です。ボランティアとして手伝っていただけるとしたら。

【齊藤委員】 学生のノリというがあるので、学園祭のときは学生に全部やらせちゃいますけど。いや、わからないですよ。

【石田委員】 もしそういう方たちの応援がいただければ、事務局に。

【齊藤委員】 いい経験にはなるかなと、そういうふうに今思ったものですから。

【石田委員】 10人とか20人とかまとまっていたら、事務局がブース配置に

助かりますので、ぜひ前もって情報をくださいませ。お願いいたします。

【中里委員】 協力された学生に単位をあげる、ということはないんですか。

【齊藤委員】 この日に授業を振り替えるというのはちょっと無理かも。でも、来ますので。

【中里委員】 よくありますよね。この展示を見て簡単な意見を述べよとか。

【齊藤委員】 ただ、こういうことに関わったというのは学校に報告をしますし、その子が、例えば就職のときとか、こういうのをやりました、そういうのは言えるようになりますので、そういうメリットは出てきます。

【齊藤委員】 来るかどうかわからないですけど、ただ、いい経験にはなるかなと。

【藤森委員】 北町センターは、今年からできたところで、認知度を高めるといふか、宣伝もかねて、今までと違ってかなり前に押し出すというようなのはいかがでしょうか。ちょっと成り立ちが違うとできないんでしょうか、そういうことは。

【田中会長】 そういうのはいいと思いますが、科学の祭典で、対象者が高校生、最初は子供の科学の祭典とおっしゃっていましたよね。

【石田委員】 はい。初めがサイエンスライブショーといいまして、ICU高校の科学の先生を中心とした先生を中心とした風船がなぜ浮くのか？なぜ飛ぶかという、そういうことから始めたんです。そしてだんだん大きくなりまして、東京都が日本全国かなんか、青少年のための科学の祭典という事業を進めているんです。その一環として小金井という独自のものをつくって、あと九州のほうで続いているだけで、単発的にはやる都市があるんですが、小金井のようにこういうふうが続いているところは多分ないと思います。日本で一番大きい祭典ではないかと言われていました。

【藤森委員】 この間ちょっと北町センターを見学させていただいたときに、緑のカーテンを作っていて、カーテンができるまでを、写真をずっと撮り続けるとかすると科学的になるかなとか、思ったんですけど。ただ本を並べるだけじゃなくて。屋上緑化とかもおっしゃっていましたし。

【石田委員】 いいですね。

【田中会長】 いいんじゃないですか。そういうのもどんどん取り入れていただいて。でも、その写真をどうやって手に入れるかですね。

【藤森委員】 そうなんですよね。それをセンターの方をお願いできるのかどうかということもわからないですし。

【田中会長】　　そういう提案をされるのであれば、ここの中で整理していかないと。

【齊藤委員】　　建物を紹介するというようなことであれば、設計者、許諾をとれば、多分貸してくれるとは思いますが、写真。屋上緑化のところとか、緑が増えているところは無理だけれども、建物的なところというのは、無断には駄目ですけども、意外と貸してくれたりするときはありますよね。これが屋上緑化の写真です。きれいな写真を提供してくれますので、そういう意味では、北町センターをそこで紹介して、こんなエコをやっています、図書館でもこんなエコをやっていますというのはあり得る話だと思います。

【藤森委員】　　ちょっと科学的になるかなと思いましたので。

【田中会長】　　話がだいぶ盛り上がって、現実的になってきたので。私どもも当然協力しますけれども、よろしく願います。30日までに図書館のほうから出すということで、よろしいですか。そういうことで願います、この件に関しましては。続きまして、管外視察について。

【上石館長】　　日程の案ということで、管外視察の予算が今年はございますので、日程案のところをごらんいただいて、11月にということを考えております。図書館事務局としては、貫井北分室、北町センターがNPOで開館しているということで、NPOで運営している藤沢市の図書館を想定しておりますが、それはこちら側の希望なので、もしも皆様がどこか、藤沢を見ても、こっちを見たほうがということであれば少し考えますので、提案というか、議題にさせていただきました。

【田中会長】　　一応予定としては11月ぐらいに管外視察ということで図書館長からありましたけれども、NPOが運営している藤沢市を見てはどうかという考えなんです、ほかの委員から、ここがいいんじゃないかというご意見がありましたら、早めに言っていただければ。この図書館を見てみたいとか、最先端のどこかの図書館があるんだとか、そういうのがありましたら早めに言っていただければ、そこと交渉しなくてはいけませんので、よろしく願いたいと思います。今のところは藤沢ということを考えているということですが。何かご意見ありますか。

【石田委員】　　11月ですと、11月20、21日に、45市プラス静岡を足した地区大会が神奈川県なんです。大船とか藤沢を中心に分科会が持たれる予定なので、11月20、21を外していただけるといいかなというのと、10月25日に調布とかこの辺の社会教育委員の第5ブロック、今年は小金井が担当します。なので、その近辺にかかるのと、藤沢はどうかという、勝手な日程なんです。11月は少々厳しい。20日以降なら。

【西村庶務係長】 日程は、まだ先の話になるので。

【石田委員】 少しそれも考慮していただければ。

【西村庶務係長】 そうですね。会が今度7月ですけど、お集まりになったときに話すのは難しいですが、日程についてはメール等でのやりとりでもいいのかなと思いますので。

【田中会長】 メールでやりとりするといったときに、事前にわかっているようであれば、こことここはちょっとっていうのを、それぞれ情報を少しいただければいいんじゃないかなと思います。小金井市は今年、第5ブロックの幹事ですか。

【石田委員】 そうなんです。

【田中会長】 ご苦労さまです。私も前やりました。

【石田委員】 何をしていくかまだ準備段階ですが。北町センターをメインテーマに持っていきたくらいだと思います。

【吉田委員】 もし別な案があれば、いつ頃までに言えばいいですか。

【田中会長】 7月ぐらいでしょうね。というのは、相手が受け入れるというのもありますから、そこへ聞かないといけないと思うんです。

【吉田委員】 その藤沢の図書館に去年市議の方や北町分館のNPOに関わられている方等が視察に行かれてるんですね。小金井市民が視察にすでに行っているの、わざわざ行かなくても報告を受けることはできるような気がしますし、あと、NPOの運営というところにだけこだわって視察をするべきなのか、図書館としてのレベルの高さとか、そういうところでの視察をしたいように思います。

【齊藤委員】 私もその点は大賛成で、NPOの運営だけを見に行ってももういいという気がしますので、それよりも、いいサービスをしていますよねというような、きちっとした図書館を見るというのが1つだと思います。

【吉田委員】 辻堂に住んでいる学生さんにどんな図書館か聞いてみたら「ごく普通の図書館ですけど」と言われました。市民の側から見れば、運営がどうなっていようと、とにかくいい図書館であるかが大事だったりするので、検討いただきたいと思います。

【田中会長】 先程も言いましたけれども、すごい機能を持っている図書館であるとか、あるいは今おっしゃいましたサービス業務がすぐれているとか、そういうところがあれば、私ども情報が全然ないです。齊藤先生に伺ったほうがよくわかるかもしれません。

【吉田委員】 小金井市と同じように財政難なのに、「すごい図書館だぞ」みたいなところを見に行きたいです。

【齊藤委員】 予算の関係もありますよね。あまり遠くは行けないですもんね。

【田中会長】 バスですよ。

【西村庶務係長】 マイクロバスをお借りして、回れる範囲なので、あまり遠くなるというと、ちょっと難しいんですが、近県あたりまでは大丈夫かなと思います。

【石田委員】 図書館委員と市報で、こういうところに行きますから一般公募みたいな、したことはないですか。大変になりますか。

【則武委員】 このことをあまり長く聞かなくていいと思うんですが、藤沢市民図書館って、図書館業界ではそれなりの、有名になったところだと思うんです。それが今NPOになって、どう変わっているのかとか、ちょっと見てみたいと思います。

【田中会長】 それでは、次回ぐらいまでに、もし候補の図書館とか、こういうところに行ってみてみたいというのが具体的にありましたら、伝えていただければと思います。第三者運営している図書館もあろうかと思いますが、そういうところを見ていきたいとか、いろんなご意見があろうかと思いますが、その中で集約していきたいと思います。少なくとも2カ月前ぐらいに決めておかないと、相手もあるし、色々ありますので。そういうことでいきたいと思います。

議題はその他になりますけれども、何か事務局で用意している議題はございますでしょうか。

【上石館長】 ありません。

【田中会長】 委員の皆様から、何かここでお話をしていただきたいということはございますでしょうか。

【吉田委員】 この『黄金色の時間の中で』というのが今日の資料に入っていますが、これは小金井市の子ども文庫サークル連絡会という組織の40年をまとめたもので、私、こごうちぶんこというのに属してまして、これもこの文庫サークルの中の1団体なんですけれども、こごうちぶんこの基になった小河内芳子という児童図書司書のパイオニアと言われる方なんですけど、その方も小金井市に住んでいらして、この活動の中心になっていたんですけど、小金井市の児童図書の環境とか、市民団体として小金井の児童図書の状況をよくしていこうという活動をずっとやってきた方たちの歴史をまとめたものなので、ぜひ読んでいただければありがたいです。よろしくお願いします。

【田中会長】 ありがとうございます。そのほか、何かございますか。

なければ、報告事項に移りたいと思いますけれども、お願いいたします。

【上石館長】 報告事項の1で、図書館「貫井北分室」についてでございます。三者合同懇談会のときに見学をしていただいた方には身近に感じられた方も多いかと思いますが、簡単に、4月1日に開館してからの報告をさせていただきます。

開館初日が4月1日でございます。休館日だったんですけども、正午から開館しました。午後7時まで開館しまして、4月2日以降は通常どおり9時から7時まで開館しております。初日は、来館者がおよそ500人とおかげさまで盛況でした。ほかの分室に比べて閲覧スペースが多く設けてありますので、本を借りる方はもとよりも、閲覧する方が非常に多く見受けられました。

4月の1カ月の利用者、登録者数としては、1,000名近い方の登録をいただきまして、そのうちの約65%の方が小金井市の北西地域の方となっております。また、登録者数の約25%が小学生以下のお子様でした。このことから、今まで近くに図書館がなかったことで利用されていなかった方が、図書館ができたということで使い始めてくれたのではないかと考えております。

4月5日、すぐ1週目の土曜日にイベントをしております。午後1時から貫井北分室初めのイベントで、ホオズキを育てようということで、読書テラスの横でホオズキをプランターで育てています。又、ホオズキの本を展示して、本につなげることをやっています。ホオズキの実ができれば、それを使って工作をするという楽しみが後で待っているということです。貫井北分室から毎日日報がきますが、ホオズキの花が咲いたというのがのっていました。

さらに5月に入りまして、10日の土曜日、初めてのおはなし会を行いました。貫井北分室は円形のお話し室がございますので、そこでおはなし会をやりました。その時だけ、お話し室の中の本が取れないんですけども、トラブルもなく、楽しくおはなし会ができたというふうに聞いています。少し落ち着いたんですけども、土日等はやはりかなり混んでいまして、今、図書館の本が少し少ないというようなことも言われていますけども、今年予算で5,000冊分追加で購入できますので、その辺は少しご容赦いただきながら使っていただかないと思っています。

この間、三者懇のときにご質問とかあまり受けられなかったもので、何かあればここでご質問等を受けて、お答えできるものはしていきたいなと思っています。以上です。

【田中会長】 ありがとうございます。何か質問等がございましたらお願いいたします。

先週は行けなくてすみませんでした。家が近いもので既に利用させていただいていましたけれども、日曜日に行ったんですが、利用者がかなり多くて、自転車置き場が満杯になるぐらいに人がいました。テラスとか、外でゆっくりできるスペースとかあったりして、非常に気持ち良くいられるんだなということと、公民館部分のほうもかなり良くて、まだ使っている人がいないので、チャンスだなと思って、スタジオとか、隣のスペースがありましたよね。ああいうところをぜひ宣伝をしていただいて、どんどん利用していただければと思います。また利用状況については逐次報告等があると思いますので、またそのときにご質問やご意見がありましたら言っていただければと思います。

【齊藤委員】 1点だけ。あそこのところに市の100円バスみたいなものは行っているんですか。

【上石館長】 C o C oバスというんですけど、ないです。

【田中会長】 あの前は通るんですが、反対側の貫井南側のほうに西之台何とか循環というのがありまして、止まるんです。ただ、トンネルくぐって反対側に行かなくちゃいけないという。

【石田委員】 坂をおりて下にいく。

【田中会長】 はい。そう行かなくてはなりません。警察署のほうにあるので、どうしても、その前にはなかったような気がいたします。

【齊藤委員】 通常のバス停はありますが、C o C oバスというんですか、そういうものが巡回するステーションができてもいいんじゃないかなという気がしたので、ちょっとお聞きしたんですけども。足を確保するというのは、意外と重要なことです。以上です。

【則武委員】 この間の三者懇のときに質問ができなかったので、2点ほど。資料で、スタッフが全員司書有資格者というふうなご説明がありますけども、そういう条件で職員採用をしたのかどうかということと、夜7時までやっているということなんで、ローテーション勤務みたいなものがあるのかどうかということをお聞きしたい。感想ですけども、大変施設もすばらしいし、職員の方々のご説明も適切だったと思います。すばらしすぎちゃってといいますか、特に最初のところにコンセプトが、開館時間の長い滞在型の図書館ですということが書いてあって、そのコンセプトというのは、あの貫井北なのか小金井市図書館のコンセプトなのか。コンセプトというのは、基本的な考え方だと思うんですけども、あの館だけが滞在型で、長くいられていい図書館になると、市立図書館としてのレベルが違うんじゃないかなという気がする。その辺のことを、質問じゃないかもしれま

せんけども、お聞きしたいと思います。

【上石館長】 司書資格有資格者というのは、スタッフ募集をかけるときに司書資格を条件にしましたので、全員が司書資格です。市側の図書館では正規の有資格者を採用するという制度に今なっていませんので、一般事務職で入ってきます。中々司書を持った職員がいない現状で、NPOでという時には、一番に司書資格ということが挙がりましたので、そのとおりにしています。

あと、9時から7時までの勤務はどのようにしているかということですが、8時出勤を1人がして、7時半までという長い時間の中で、早番、遅番ということでローテーションを組んでいます。11人スタッフがいますけども、館長以下10人で回しています。館長は突発的なことの対応のためにローテーションには入らないでいます。ただ、土日の出勤等ありますので、館長も大変かと思います。

コンセプトは、今までの図書館が老朽化をしていて、狭い、スペースがないということがありますので、今度作る図書館は、滞在型というのが、職員が一致して挙げたところです。あと、市民の検討委員会というのがございまして、2年間作ってきた中でも、やはりそういったことを。市民検討委員会の委員さんにも設計者にもわかっていただき、書架間はこれ以上狭くしないということで、ゆったりと、そこでも本を選べて、車いすが通れるということで、ユニバーサルデザインも考えながらやっております。あそこでも説明にあったと思うんですけど、本館の1階と児童室を合わせた面積が1フロアであるということで、入って空間が広がっているなという感じだなということで、照明等もかなり凝られています。児童コーナーが、照明が暗いのではないかとというようなところもありましたけども、それは設計者のほうで照度は足りているということでもあります。そういったことはずっと2年間やってきた成果だとは思っています。

【田中会長】 よろしいでしょうか。

【齊藤委員】 関連なんですけど、司書で派遣を雇われているというのは聞いておりましたので、それはそうだというふうに思うんですが、市の中の施設、市の組織として動いている訳ですので、その大もとの市が司書を採用していないというようなことというのは、大変重要な問題だというふうに思います。やはり小金井市としての図書館行政をいかに進めていくのかというようなイメージとしては、市がきちっと専門職を雇っていく、その中でイニシアチブをとっていくということが重要だというふうに思います。NPOの人達が悪いとは全然僕は思いませんが、市が責任を持ってやる、図書館行政としては、や

はり市がきちっとそういう人を雇っていくということが基本だというふうに思いますので、ちょっと感じましたのでお話をさせていただきます。

【上石館長】 全くそのとおりですが、言い訳ですけども、市の司書職職員採用制度がなく、たまたま司書を持っている方が異動されてくるような状況でいます。その方も4年、5年とかたつと、また別のところに戻ってしまうので、継続した司書の育成とか、継承していくというのはなかなか難しいところではあります。この図書館概要でも、この間、平成24年度版のところでも申しあげましたが、司書の数が極端に減ってしまっています。団塊の世代の方たちが司書を持っていたということもありましたけれども、今、私を含めて4人になっています。ということで、重く受けとめております。

【齊藤委員】 重々、悩んでいらっしゃるの承知なんですけれども、協議会からそういう意見もあったというようなことは、ぜひ伝えておいていただきたい。

【上石館長】 ありがとうございます。

【田中会長】 ありがとうございます。そのほかございますでしょうか。その他、報告及び資料について何かありましたら。

【西村庶務係長】 先程日程案ということで横書きを皆さんにお渡ししまして、今期、皆さんの日程は大体このぐらい、このような日程でというのをお渡ししております。次回の7月、市内図書館施設見学というふうに提示させていただいているんですが、今日終わりましたら、お時間ある方は本館を見ていただくんですけど、本館以外に3つの分室をマイクロバスをお借りして見ていただこうかなと思っておりますが、移動図書館等も含めて。なので、日程、候補日で3日間入れておるんですが、マイクロバスを予約しないといけない関係がありまして、この3日間で調整させていただいて、皆さん、あらかじめこの3日間は、もう委員の中で予定はございますでしょうか。なければ、この3日間でバスのとれる日ということで、7月7日、14日、16日。

(各委員より日程を聞き取り)

【西村庶務係長】 そうしましたら、また皆さんにメールで日程の候補日を送らせていただきます。とりあえず皆さんが行ける日がよいかと思いますので。日程を確定後に、バスの予約の関係もあるので、すぐに送らせていただきます。どうしても駄目という場合は、またメールで候補日を挙げさせていただきます。以上です。

【中里委員】 時間に関しましては、午前開催というのを予定しておけばよろしいでしょうか。

【西村庶務係長】 はい。

【中里委員】 わかりました。

【田中会長】 用意した議題等は以上ですけども、皆さんから何かありますか。  
では、ご協力ありがとうございました。本日の会議は終わりとさせていただきます。ありがとうございました。

— 了 —